

種名	コ ブ シ <u>Magnolia kobus</u> 				
	分類	落葉高木 モクレン科 モクレン属	俗称		別名 ヤマアラギ、コブシハジカミ
分布	北海道、本州、四国、九州、朝鮮(済州島)				
形態	山野に生え、高さは5～18mぬなる。葉は長さ6～13cm の広倒卵形で洋紙質。裏面は淡緑色。3～5月、枝先に直径6～10cmの芳香のある白い花が咲く。花の下に葉が1個つくのが特徴。花弁は6個で基部は紅色を帯びる。萼片は3個で小さい。集合果はこぶが多く、長さ5～10cm。9～10月に熟すと袋果が裂け、赤色の種子を白い糸で吊り下げる。				
類似種					
生育場所	山野。				
繁殖					
他生物との関係					
配慮のポイント					
トピック					
その他					
用途	庭木、接木の台木、建築・家具・器具・楽器材				
引用文献: 『山溪カラー名鑑 日本の樹木』を改変					